

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第3区分

【発行日】平成21年4月23日(2009.4.23)

【公表番号】特表2008-533246(P2008-533246A)

【公表日】平成20年8月21日(2008.8.21)

【年通号数】公開・登録公報2008-033

【出願番号】特願2008-500911(P2008-500911)

【国際特許分類】

C 0 9 D 11/00 (2006.01)

B 4 1 M 5/00 (2006.01)

B 4 1 J 2/01 (2006.01)

【F I】

C 0 9 D 11/00
B 4 1 M 5/00 E
B 4 1 J 3/04 1 0 1 Y

【手続補正書】

【提出日】平成21年2月27日(2009.2.27)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

第1着色剤を含んでいる第1インク組成物と、第2着色剤を含んでいる第2インク組成物と、

を含むインクセットであって、前記第1着色剤が前記第2着色剤とは異なり、

各インク組成物は、同じ基材上に塗りつぶし率100%で印刷された場合、

$$h^{\circ}_n = t a n^{-1} (b^*_n / a^*_n)$$

$$L^*_n = L^*_{\text{基材}} - L^*_n$$

(式中、

n = 前記第1および第2インク組成物のそれを表す1または2であり、

h°_1 と h°_2 は互いに15°以下だけ異なり、かつ

$$L^*_1 > L^*_2 \text{である)$$

に従った色相角 h°_n および前記基材の明度を基準にした明度 L^*_n を有する色を生み出す、インクセット。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0043

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0043】

その後、CYMK_test_file.epsおよびPrintopenXT_CM
YK.tifファイルを、上記の校正ファイルを用いて、解像度423×600dpi、
ライトインク最大量の設定100%、プロファイルなしでリッピングした。リッピングし
たファイルを印刷し、その印刷したPrintopenXT_CM
YKファイルを用いて各インクセットごとにICCプロファイルを生成させた。得られたプロファイルを用いて
色域体積（したがって、各インクセットで得られる色）を比較した。色域体積は、モナコ

(Monaco) のギャマットワークス (Gamut Works) を用いて計算したが、それは表3に示してある。

以下に、本願発明に関連する発明の実施の形態を列挙する。

実施形態1

第1着色剤を含んでいる第1インク組成物と、第2着色剤を含んでいる第2インク組成物と、

を含むインクセットであって、前記第1着色剤が前記第2着色剤とは異なり、

各インク組成物は、同じ基材上に塗りつぶし率100%で印刷された場合、

$$h^{\circ}_n = \tan^{-1}(b^*_n / a^*_n)$$

$$L^*_n = L^*_{\text{基材}} - L^*_n$$

(式中、

n = 前記第1および第2インク組成物のそれぞれを表す1または2であり、

h°_1 と h°_2 は互いに15°以下だけ異なり、かつ

$$L^*_1 > L^*_2 \text{ である)$$

に従った色相角 h°_n および前記基材の明度を基準にした明度 L^*_n を有する色を生み出す、インクセット。

実施形態2

前記第1および第2インク組成物がインクジェットインク組成物である、実施形態1に記載のインクセット。

実施形態3

h°_1 および h°_2 が互いに10°以下だけ異なる、実施形態2に記載のインクセット。

実施形態4

h°_1 および h°_2 が互いに5°以下だけ異なる、実施形態2に記載のインクセット。

実施形態5

h°_1 および h°_2 が -20°から10°である、実施形態2に記載のインクセット。

実施形態6

前記第1および第2着色剤がキナクリドンである、実施形態5に記載のインクセット。

実施形態7

$h^{\circ}_2 < h^{\circ}_1$ である、実施形態5に記載のインクセット。

実施形態8

h°_1 および h°_2 が 225°から245°である、実施形態2に記載のインクセット。

実施形態9

$h^{\circ}_2 < h^{\circ}_1$ である、実施形態8に記載のインクセット。

実施形態10

h°_1 および h°_2 が 80°から100°である、実施形態2に記載のインクセット。

実施形態11

$h^{\circ}_2 < h^{\circ}_1$ である、実施形態10に記載のインクセット。

実施形態12

L^*_2 が L^*_1 の 80%未満である、実施形態2に記載のインクセット。

実施形態13

L^*_2 が L^*_1 の 30%から70%までである、実施形態2に記載のインクセット。

実施形態14

L^*_2 が L^*_1 の 40%から60%までである、実施形態2に記載のインクセット。

実施形態15

前記第1および第2インク組成物が化学線または熱放射によって硬化する放射線硬化性インク組成物である、実施形態2に記載のインクセット。

実施形態16

前記第1および第2インク組成物が溶剤ベースのインク組成物であり、溶剤ベースの各インク組成物が前記インク組成物の全重量を基準にして有機溶剤を少なくとも30重量%含んでいる、実施形態2に記載のインクセット。

実施形態 1 7

前記第1および第2インク組成物が水性インク組成物であり、各水性インク組成物が前記インク組成物の全重量を基準にして水を少なくとも30重量%含んでいる、実施形態2に記載のインクセット。

実施形態 1 8

前記第1および第2着色剤が顔料、染料、またはそれらの組合せである、実施形態2に記載のインクセット。

実施形態 1 9

前記第1着色剤が第1顔料および第2顔料を含んでおり、前記第1顔料と前記第2顔料とが第1重量比になっており、

前記第2着色剤が前記第1顔料および前記第2顔料を含んでおり、前記第1顔料と前記第2顔料とが第2重量比になっており、かつ

前記第1重量比が前記第2重量比とは異なる、

実施形態1 8 に記載のインクセット。

実施形態 2 0

前記第1着色剤が第1染料および第2染料を含んでおり、前記第1染料と前記第2染料とが第1重量比になっており、

前記第2着色剤が前記第1染料および前記第2染料を含んでおり、前記第1染料と前記第2染料とが第2重量比になっており、かつ

前記第1重量比が前記第2重量比とは異なる、

実施形態1 8 に記載のインクセット。

実施形態 2 1

前記第1着色剤が顔料と染料を第1重量比で含み、

前記第2着色剤が前記顔料と前記染料を第2重量比で含み、

前記第1重量比が前記第2重量比とは異なる、

実施形態1 8 に記載のインクセット。

実施形態 2 2

(a) 第1着色剤を含んでいる第1インク組成物と、第2着色剤を含んでいる第2インク組成物と、

を含むインクセットであって、前記第1着色剤が前記第2着色剤とは異なり、

各インク組成物は、同じ基材上に塗りつぶし率100%で印刷された場合、

$$h^{\circ}_n = \tan^{-1}(b^*_n / a^*_n)$$

$$L^*_n = L^*_{\text{基材}} - L^*_n$$

(式中、

n = 前記第1および第2インク組成物のそれぞれを表す1または2であり、

h°_1 と h°_2 は互いに15°以下だけ異なり、かつ

$$L^*_1 > L^*_2 \text{である)$$

に従った色相角 h°_n および前記基材の明度を基準にした明度 L^*_n を有する色を生み出す、インクセットを用意する段階と、

(b) インクジェット印刷ヘッドによって前記インクセットを印刷する段階とを含む、インクジェット記録方法。

実施形態 2 3

h°_1 および h°_2 が-20°から10°である、実施形態2 2 に記載の記録方法。

実施形態 2 4

実施形態2 2 に記載のインクジェット記録方法を使用して作成された印刷画像。

実施形態 2 5

h°_1 および h°_2 が-20°から10°である、実施形態2 4 に記載の印刷画像。